



# ウーリー御嶽一帯の植物群落

**指定名称** ウーリー御嶽一帯の植物群落  
(町指定天然記念物)

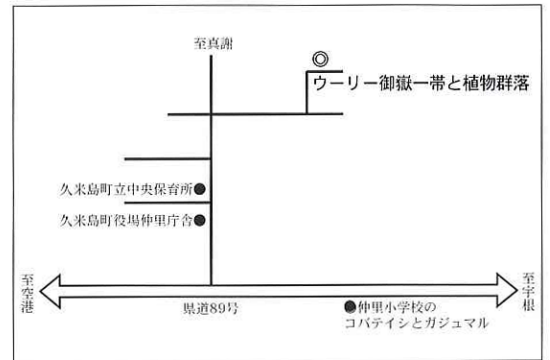
**所在地** 久米島町字謝名堂ナカオハ原1917

**指定年月日** 昭和47年9月2日  
(旧仲里村指定)

**所有者** 久米島町

ウーリー御嶽は、久米島町字謝名堂の小高い山の頂上にある。かつて、このあたりはイタジイが群生するシイ林であったといわれている。

御嶽は北側の一部を除いて、ウーリー池と呼ばれる池で取り囲まれ、池の周りにはサガリバナが帯状に生えている。山頂部から山地斜面にかけては、高木層にタブノキ、ホルトノキ、ヤブニッケイ、モクダチバナ、カクレミノ、ハゼノキなど、亜高木層にはリュウキュウガキ、アデク、ヒメユズリハ、



コバンモチ、クチナシ、ヤブニッケイ、ナカハラクロキなどが見られる。低木層にはクロツグのほかに、リュウキュウアオキ、リュウキュウチク、ギョクシンカなど、草本層にはピロウ、タシロスゲ、カラスキバサンキライ、シラタマカズラなどが見られるなど、多種多様な植生層が御嶽一帯で観察することが出来る。